

領 収 証

鶴見 義明 様

受付No. 1015

発行日 2023年5月15日

金額 ￥ 14,000 (税込)

但 参加代金として
(第65回自治体学校in岡山)

有限会社 勤労者レクリエーション協会

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-46-13

TEL : 03-3984-0401

FAX : 03-3984-0407

担当 : 尾崎さゆり

研 修 鶴 見 義 明 議 員

研修: 第65回自治体学校 in 岡山

日時: 令和5年7月22日(土)～24日(月)

場所: 岡山県岡山市中区小橋町1-1-30 岡山市立市民文化ホール

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～岡山駅	鉄道	往復	1,680.2	23,100	14,200			37,300
岡山駅前～小橋	路面電車	往復	4.6	280				280
岡山駅～大学病院入口	バス	往復		240				240
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				23,620	14,200	0	0	37,820

宿泊料@16,500×2泊 33,000 円

交通費 37,820 円

(うち航空運賃 0 円)

計 70,820 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 岩上 裕一

自治体学校 IN 岡山

日本共産党 鶴見義明

日時 2023年7月22日（土）～24日（月）

7月22日（土） 12:30～16:50 岡山市立市民文化ホール

記念講演①「地方自治と地域 この1年から考える」

講師 中山徹（自治体問題研究所理事長・奈良女子大学教授）

今回の講演は、地方自治がテーマでした。年々投票率が低下していく中、地方自治はどうあるべきか。佐野市でもここ近年投票率低下は問題視しなければなりません。その原因がどこにあるのか、どうすれば変えることができるのかということです。特に地方議会において無投票が増えているようですが原因がどこにあるのかを考えると、報酬が低い、将来の生活が不安定などが一因とされるようです。果してそうでしょうか。議会そのものにどれだけ魅力を持たせるかも考えなければならないと思います。地方政治を変えるにはまず投票率を上げること。特に女性、若者の投票率上昇がカギです。議員になって佐野市を変えてみたいと思われる魅力ある議会にすることが、現職の議員の責任であると感じました、

記念講演②「地域の主権を大切に、ミュニシパリズムの広がり」

講師 岸本聡子（東京都杉並区長）

2022年の杉並区長選挙で当選した岸本聡子区長は「政治の一番の足元は私たちが生きている地域です。自分に似たような魅力的な候補者がいれば選挙に行くことにつながり、地方選挙を盛り上げ、変革のステップにもなります。」と話していました。杉並区議選当選者は定数48のうち女性が24人で投票率も前年比4.19ポイント増の43.66%。新人が15人当選という結果でした。国政でも地方でも情勢の議員比率が話題になります。直近の選挙でも近隣の足利では定数24のうち女性が9人当選。小山市は定数28で女性は6人、栃木市は定数28で女性は3人と複数の女性議員がいます。地方議会を変えるということを考えた場合、女性、若者がเพิ่มด้วยて今までと違った視点が生まれ議会の魅力度も変わるものと考えますが、残念ながら佐野市では女性議員は1人です。なぜ女性が増えないのか解決策が見つかりません。

7月23日（日） 9：30～16：00 岡山市勤労者福祉センター

分科会・講座

分科会1 「正職員の長時間労働と非正規職員の不安定化」

助言者 黒田兼一（明治大学名誉教授）

助言者は最初に正規職員の長時間労働について「1990年代コストと効率性偏重の公務員制度改革もたらしたツケが、住民と自治体職員の犠牲として現れたのである。」と話していました。またかつての大阪府・市の首長・橋下徹氏が「徹底的な改革を断行し、それが現場を疲弊させている」と反省の弁を述べたとのこと。2014年に過労死防止法が制定されましたが地方公務員の過労死・過労自殺は上昇傾向にあります。また長期休暇職員も多く、メンタルによる要因であることは佐野市でも例外ではありません。正規職員は減少し代わりに非正規職員が増加してきました。2020年4月から会計年度任用職員制度が始まりましたが会計年度任用職員はあくまでも正職員の補助的業務を担うものとされており、問題点は1年ごとの雇用契約の見直しです。国の基本は契約更新は2回までとされ、3年で新たに公募するとされています。佐野市は3年という区切りをしてないということですが、不安定な雇用には違いありません。正職員の長時間労働をなくすためには正職員を増やすことであると思います。

7月24日（月） 9：20～11：50 岡山市立市民文化ホール

特別講演① 暮らしから考える自治体行政のデジタル化

講師 本多滝夫（龍谷大学教授）

いま行政手続き等でデジタル化が進んでいます。「暮らしから考える自治体行政のデジタル化」という講演を聞きました。行政手続きのオンライン化は住民がわざわざ市役所に赴く手間を省くことができるようにすることです。その一方で自治体は申請や届け出をした住民の情報をデジタル情報として入手することができます。その中でマイナンバーカードは住民が申請や届け出をする際に住民票などを添付する書類を省略することができます。また行政機関では複数にわたる場合、ワンストップで手続きを済ませることができます。しかしマイナンバーカードは個人情報の流出や、カード紛失などの危険などあり、個人が本当に必要としているのか。どれだけメリットがあるのか疑問です。議会でマイナカードについて何度も一般質問をしてきました。制度開始から8年が過ぎても市民の保有率は約72%、申請をしても窓口に取りに来ない人は約1300人もいる現状があります。これからさらに普及率を高めるために健康保険証と一体化や、今後運転免許証や銀行口座との一体化などが進められようとしています。

講師は最後に「行政手続きのオンライン化と並行して進められている自治体の情報システムの標準化・共通化の基本的な問題は、自治体の独自のサービスが標準化によって削られてしまう恐れがあることです。」との発言がありました。

特別講演② 自治体が直面する課題への挑戦（現場から）

講師 太田 昇（岡山県真庭市長）

特別講演として岡山県真庭市長の講演を聞きました。真庭市は2022年議会の経済文教常任委員会で行政視察をしてきました。真庭市の面積は東京都23区の130%と広大な土地であり約80%が森林です。この自然環境を生かし官民一体となった様々な事業が取り組まれていました。木材チップ工場があり、木材チップを使用したバイオマス発電所、その余熱を利用した合板工場などがありました。

市長は「中山間地の制約と課題は不利なのか？」として少子高齢化、地理的不利、経済衰退にたいし逆転の発想が必要として、高齢化問題では知識と経験のある人がたくさんいるや、山はお荷物については地上資源の宝庫、エネルギー自給でエネルギー・雇用・産業・観光事業等の創出を実現したとのこと。

佐野市も多くの山林を抱えていますが、林業の衰退等自然資源を十分に生かされていないのが現状です。行政視察では大いに参考になりましたが、真庭市と比較し、地理的状況や自然環境の規模の違いなどを考えると、真庭市のような官民一体の取り組みは現実的には難しいのではないかと思います。



みんなで学ぶ、つくる
憲法・地方自治に根ざした
まちとくらし

備中神楽「大蛇退治」

みんなが先生 みんなが生徒

第65回

自治体学校

in
岡山

岡山市立市民文化ホール

岡山市勤労者福祉センター／おかやま西川原プラザ／岡山シティホテル桑田町別館 ほか

2023年7月22日(土)～24日(月)

後日、分科会・講座の録画配信予定あります。

1日目●全体会 7月22日(土) 12:30～16:50 岡山市立市民文化ホール ZOOM ウェビナー配信



記念講演①

地方自治と地域
この1年から考える

自治体問題研究所理事長
奈良女子大学教授

中山 徹



記念講演②

地域の主権を大切に、
ミュニシパリズムの広がり

東京都杉並区長 岸本聡子

3日目●全体会 7月24日(月) 9:20～11:50 岡山市立市民文化ホール ZOOM ウェビナー配信



特別講演①

暮らしから考える
自治体行政のデジタル化

龍谷大学教授 本多滝夫



特別講演②

地方自治体が直面する
課題への挑戦(現場から)

岡山県真庭市長 太田 昇

主催●第65回自治体学校実行委員会

後援●岡山県／岡山市／倉敷市／玉野市／笠岡市／井原市／総社市／高梁市／新見市／備前市／瀬戸内市／赤磐市／真庭市／美作市／浅口市／和気町／早島町／里庄町／鏡野町／勝央町／奈義町／久米南町／吉備中央町／新庄村／西粟倉村／岡山県教育委員会／岡山市教育委員会／倉敷市教育委員会／岡山県市長会／岡山県町村会／岡山県市議会議長会／岡山県町村議会議長会／RSK 山陽放送／OHK 岡山放送／TSC テレビせとうち／山陽新聞社【2023年4月12日現在・順不同】

1日目●全体会 7月22日(土) 12:30～16:50

岡山市立市民文化ホール

(ZOOMウェビナー・記念講演より配信)

12:00 開場

12:30～ 歓迎行事 備中神楽

「備中神楽」には二つの種類があります。一つは、荒神の鎮魂を目的に、中世に起源があり神職が行っていた「神事系の神楽(荒神神楽)」で、もう一つが、「荒神神楽」に江戸時代後期の国学者・西林国儒が、古事記・日本書紀などの神話(天岩戸開き、国産り、大蛇退治など)を題材に加え、再編したもので「神代(宮)神楽」と呼ばれています。歓迎行事での演目は、「猿田彦(さるたひこ)の舞」と「大蛇(おろち)退治」です。

13:00～ 開校あいさつ 川瀬憲子(学校長)／磯部 作(現地実行委員長)

13:15～ 記念講演①

地方自治と地域 この1年から考える

中山 徹(自治体問題研究所理事長・奈良女子大学教授)

この1年、地方自治や地域で注目しておきたい動きは何か、それらをおさらいしながらこれからの方策について考えます。

14:50～ 記念講演②

地域の主権を大切に、ミュニシパリズムの広がり

岸本聡子(東京都杉並区長)

新型コロナウイルスの感染、ロシアのウクライナ侵攻などにより、国家や「公共」の意味が改めて問われています。そんな中、世界各地の自治体では、公共サービスを住民の手に取り戻す「再公営化」の動きや地域経済を自主的に再興する動き、より直接民主主義的な政治の実現をめざす動きが起っています。人の命や生活が置き去りにされている現状に対して、「住民が真ん中、豊かな環境、多様なあふれる新時代へ」をスローガンにしたミュニシパリズムの思想と実践を考えます。

16:00～ リレートーク

地域と自治体 最前線

「奈義町の子育て支援の到達と課題」森藤政憲(奈義町議会副議長)ほか

16:50 1日目全体会終了

★岡山のお酒を楽しむ会★★★★★★★★★★★★★

7月22日(土) 18:15～20:00 岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

酒造好適米「雄町」のふるさと岡山へようこそ。「合併しないで頑張る西栗倉村」で、ユニークな酒販店を営んでいる「酒うらら」の道前理緒さんを招いて、日本酒バーを開きます。7つの蔵から岡山産の地酒を提供。お酒の魅力にたっぷり浸って交流してください。

◆参加費4,000円

3日目●全体会 7月24日(月) 9:20～11:50

岡山市立市民文化ホール

(ZOOMウェビナー配信)

9:00～ 開場

9:20～ 特別講演①

暮らしから考える自治体行政のデジタル化

本多滝夫(龍谷大学教授)

デジタル社会は、デジタルの活用により一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができる社会とされています。行政手続のオンライン化と情報システムの標準化・共通化を両輪とする自治体行政のデジタル化によって、本当に住民は「一人ひとりのニーズに合ったサービス」を選ぶことができるようになるのかを考えてみます。

10:45～ 特別講演②

地方自治体が直面する課題への挑戦(現場から)

太田 昇(岡山県真庭市長)

自治体の役割は市民が幸せを実現する条件を整備することと考えており、経済成長率ばかりを追い求めるのではなく、新たな価値観の下で、真の豊かさを実現する社会を模索する必要があると考えています。日本全体でかかえるエネルギー・脱炭素、少子高齢化、地域活性化などの課題への取組について、現場である真庭市のバイオマス発電などを例に紹介します。

11:45～ 閉校あいさつ 小山国治(実行委員長)

11:50 閉校

2日目●分科会・講座 7月23日(日) 9:30～16:00

(10のみ7月29日リアル・ZOOM同時開催)

岡山市勤労者福祉センター／おかやま西川原プラザ／岡山シティホテル薬田町別館

1●正規職員の長時間労働と非正規職員の不安定化^(リアル・ZOOM同時開催)

助言者：黒田兼一(明治大学名誉教授)



(参加を申込んだ全国の労組とオンラインで結び討論します)

コロナ禍ではっきり見えてきたものは、1990年代からの公務員改革が正規職員と非正規職員の双方に苦難を強いて、公務公共サービスの質的低下をもたらしたことです。「全体の奉仕者として公共の利益のために勤務」すべき(地公法30条)自治体職員の労働と任用実態をファクトチェックしながら、失われた30年からの脱却に向けて、熱い議論をしましょう。

2●医療と公衆衛生体制強化への道すじを考える

助言者：長友薫輝(佛教大学准教授)



政府は、ながく医療・公衆衛生を抑制してきた末に、こんどは新型コロナウイルス感染症対策の強引な幕引きを図ろうとしています。これではこれからの感染症に備えられないばかりか、各地の医療供給体制がさらに弱体化してしまいます。医療崩壊の主因である公的医療費抑制策の転換と公衆衛生体制強化の道すじを考えてみます。

3●住民とともに進める持続可能な地域づくり

助言者：関 耕平(盛根大学教授)



加速化する人口減と地域衰退の一方、希望の芽が地域から生まれつつあります。「住民九投げ」の地域づくりでなく、議会や自治体職員がしっかりと役割を果たし、どのように「住民とともに」持続可能な地域づくりに取り組むか。都市・農村の事例紹介からともに学び、地域の持続可能性の展望を切り開く分科会にしましょう。

4●「自治体のプラットフォーム化」で自治体はどう変わるのか(後日録画配信あり)

助言者：本多滝夫(龍谷大学教授)



国は、データを「知恵・価値・競争を生み出す源泉」として位置づけ、自治体に対し、情報システムの「統一化・標準化」、行政手続のオンライン化を通じて、連公共分野や民間分野とのデータ連携の拡大を求めています。自治体のプラットフォーム化が現在どういう段階で、今後の展開はどうなるのかについて、事例から読み解きます。

5●少子化時代における保育所のあり方を考える(後日録画配信あり)

助言者：中山 徹(自治体問題研究所理事長・奈良女子大学教授)



少子化は予想以上のスピードで進んでいます。こども家庭庁が発足し、それに併せた自治体の子ども施策の再編も予想されます。質を犠牲にした保育園の量の拡大、行政責任の後退等、「子どものため」の保育を真実に考えなくてはなりません。保育環境の改善に舵を切り本当の少子化対策の必要性を説きます。

6●公なき「地域再生」とDXによる社会保障の変質を考える

助言者：豊島明子(南山大学教授)



介護保険による市場化政策の一方、「地域共生社会」を掲げた福祉政策が進んでいます。この20年余の介護・福祉の法政策をふり返り、福祉行政の役割に迫る各地からの報告と交流を通して今後のあり方を考えます。マイナンバーカードと介護・医療のデジタル化がもたらす社会保障の変質と、人権の観点からの課題についても考えます。

7●自治体民営化のゆくえ―「公共」の変質と再生(後日録画配信あり)

助言者：尾林芳匡(弁護士)



PFIについての会計検査院の報告書を受けて、各地でPFI事業についての議案を議会が否決する例が出はじめています。他方で、公園の管理を営利企業に委ねる例が広がり、樹木の伐採に反対する住民運動が起っています。地方独立行政法人化された公立病院で、医療体制の縮小を食い止めた例もあります。各地での経験を交流し、「公共」の再生への展望を明らかにします。

8●学校統廃合・小中一貫教育と学校を守る住民の運動

助言者：山本由美(和光大学教授)



コスト削減・「効率性」優先で、教育的議論を欠いた学校統廃合や小中一貫教育が各地で進行。背景には、公共施設等総合管理計画など新自由主義的な地域再編が、プールの廃止や民間委託、施設整備のPFI導入も進んでいます。こうした動きの狙いを学ぶとともに、住民運動の経験を交流し、学校を守る共同について考えます。

9●新型コロナ後の公共交通のあり方

助言者：金山洋一(富山大学教授)



新型コロナ禍でJR各社は減便、廃線、人員削減などサービスレベルが低下しています。路線バスについても、低賃金で過酷な労働や運転手の高齢化で路線廃止が相次いでいます。交通権だけでなく、まちづくり、二酸化炭素削減の観点から公共交通のあり方について考えます。

10●市民の水を奪う広域化―水道広域化とダム(利水)問題(リアル・ZOOM同時開催)

助言者：近藤夏樹(自治労連公営企業評議会事務局長)



開催日時：7月29日(土) 13:30～17:00(接続は13:15～)

会場：大阪グリーン会館

民営化は各地の住民運動で止まりましたが、国は都道府県主導で広域化を推進しようとしています。広域化計画には住民が大切にしてきた自己水源を放棄し、ダムからの水に切り替えさせる例が後を絶ちません。ダムの水は余っています。その背景には過大な水需要計画があったのです。

11●自治体政治・行政入門 午前(後日録画配信あり)

講師：柏原誠(大阪経済大学准教授)



本講座では、日本の地方政治について「きほんのき」から話します。仕組みの話にとどまることなく、自治の歴史や理論などについても、今日の社会変化(人口減少、気候変動、デジタル化)から自治のあり方を、トピックも交えながら考えるような講座を目指します。積極的な参加をお待ちします。

12●自治体財政のしくみと課題 午後(後日録画配信あり)

講師：川瀬憲子(学校長・静岡大学教授)



新しく地方議員になられたみなさま、財政構造を知りたい自治体職員や市民団体のみなさまに、自治体財政の基本的なしくみを解説した上で、「集権型システム」ともいえる国と地方の財政関係、「地方創生」やデジタル・トランスフォーメーション、コンパクトシティ化、学校等公共施設統廃合が自治体財政に及ぼす影響と課題について、具体的事例を交えながらわかりやすく解説します。

/// 現地分科会 申し込みは「現地分科会参加申込書」で ///

13●西日本豪雨災害の教訓を活かして住民参加の防災対策を

助言者：磯部 作(現地実行委員長・元日本福祉大学教授)



西日本豪雨から5年。被災者・支援者・研究者がダム放流や河川管理など災害検証を重ねてきました。2年前「流域治水関連法」の成立で、流域全体の面的治水政策へ大きく方向転換され、計画策定に住民参加の仕組みが位置づけられました。被災地をめぐる「住民参加の防災対策とは」を考えませんか。希望者はバスで被災地を視察します(見学バス：定員25人)。

・現地分科会経費 参加費1,000円。バスに乗る方は+2,000円。弁当代1,000円。現地で集金します。

・視察参加者集合場所・時間 JR伯備線の総社駅東口9時。行き方は「会場へのアクセス」参照。

・分科会場所 まびいきききプラザ11時15分から、行き方は「会場へのアクセス」参照。

14●水島でカーボンニュートラルの取り組みを学ぶ

助言者：歌川 学(産業技術総合研究所主任研究員)

世界的な気候危機への対応として、民生、産業、運輸等様々な部門での温室効果ガス排出削減が喫緊の課題とされます。この課題をどう進めるか、大規模コンビナートが操業する水島で、①市民と行政が連携する民生部門の取り組み、②企業と行政が連携しての産業部門の取り組み、③今ある技術の活用の有効性について学びます(見学バスの定員は35人)。

・現地分科会経費 参加費2,000円。終了後希望者は水島臨海工業地帯など視察します。見学バスに乗る方は+3,000円。弁当代1,000円。現地で集金します。

・集合場所・時間 水島愛あいサロンに9時45分までに。行き方は「会場へのアクセス」参照。

★夜の交流会★★★★★★★★★★★★★★★★★

7月23日(日) 17:30～19:30 岡山市勤労者福祉センター

①GX基本方針で高まる原発のリスクと住民避難計画

呼びかけ人：池田 豊(京都自治体問題研究所副理事長)

瓜生昌弘(滋賀自治体問題研究所事務局長)

福島事故の教訓を無視し、原発のリスクを一層高まる国のGX基本方針が決定されるなかで、過酷事故時の最後の防波堤となるべき避難計画は、実効性が確保できるでしょうか。各地の避難計画の実態や判決・決定に見られる裁判所の判断などを交えて交流します。

②新人・ベテラン議員交流会

今年春の統一地方選で誕生した新人議員のみなさん、3か月の議員活動で何を感じましたか? 一みさんの疑問、そして先輩議員が語る議会活動の苦心談などを交流します。ベテラン議員の参加歓迎!

③学び×女性×住民主体のまちづくり×公民館

呼びかけ人：重森しおり(岡山市職員労働組合書記長)

岡山市の公民館では非正規職員がエンパワリングし、市民と共に学び自分たちの専門性を高めてきました。ESDやSDGs、行政施策とも運動してまちづくりを進めてきた経緯を共有しながら、誰もが輝く住民主体のまちづくりについて様々な立場で展望を語り合います。

参加費・岡山県内参加費特例

- 別紙「第 65 回自治体学校 in 岡山参加申込書（岡山県内参加者用）」をご覧ください。

新規入会者特典

- 岡山現地で 2 日以上参加される方で、自治体学校を機に自治体問題研究所（都道府県ごとの地域研究所）に新規入会される方には、当日受付で入会申込書と引き換えに、初年度会費から 4,000 円を差し引きます。

2 日目分科会の昼食について

- 7 月 23 日（日）の分科会会場は 3 カ所に分散しています。弁当を注文いただくと、各会場で食べられます。申込用紙に○を付けて申し込みください。なお、現地分科会に参加の方は、それぞれの会場で用意しますので「現地分科会参加申込書」でお申し込み下さい。

【新型コロナウイルス感染症対策ご協力をお願い】

- 会場、交通機関、宿泊施設、観光施設、食事施設において、それぞれの発信しているガイドラインに則ってご対応をお願いします。



提供：真庭市 バイオマス発電所

第 65 回自治体学校実行委員会

事務局 〒162-8512 東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4 階 自治体問題研究所内

電話 03-3235-5941 FAX 03-3235-5933 E-mail : info@jichiken.jp

〈共催団体〉自治体問題研究所／北海道地域・自治体問題研究所／オホーツク地域自治研究所／青森県地域自治体問題研究所／岩手地域総合研究所／福島自治体問題研究所／茨城県自治体問題研究所／とちぎ地域・自治研究所／ぐんま住民と自治研究所／埼玉自治体問題研究所／千葉県自治体問題研究所／東京自治問題研究所／多摩住民自治研究所／神奈川自治体問題研究所／にいがた自治体研究所／富山県自治体問題研究所／いしかわ自治体問題研究所／長野県住民と自治研究所／静岡県地方自治研究所／東海自治体問題研究所／滋賀自治体問題研究所／京都自治体問題研究所／大阪自治体問題研究所／兵庫県自治体問題研究所／奈良自治体問題研究所／和歌山県地域・自治体問題研究所／とっとり地域自治研究所／しまね地域自治研究所／岡山県自治体問題研究所／広島自治体問題研究所／徳島自治体問題研究所／香川県自治体問題研究所／愛媛県自治体問題研究所／高知自治体問題研究所／福岡県自治体問題研究所／長崎県地域・自治体研究所／くまもと地域自治体研究所／みやぎき住民と自治研究所／おきなわ住民自治研究所

●会場へのアクセス●

会 場	住所・電話番号	アクセス・ほか
全体会 岡山市立市民文化ホール	岡山市中区小橋町 1-1-30 電話 086-273-0395	JR 岡山駅東口から路面電車岡山駅前電停で東山行へ乗車、小橋電停で下車（140 円）し、徒歩約 1 分。
分科会 岡山市勤労者福祉センター	岡山市北区春日町 5-6 電話 086-233-8311	バス：JR 岡山駅東口バスターミナルから 3 番乗り場、または 4 番 5 番乗り場で岡電バス岡山市役所経由に乗車、約 10 分「大学病院入口」で下車（120 円）し、商店街を北へ徒歩約 3 分。 徒歩：岡山駅東口から約 30 分。 『岡山のお酒を楽しむ会』岡山市立市民文化ホールから岡山市勤労者福祉センターへの順路 バス：徒歩約 10 分後めぐりんバス、匠大右線・新西大寺町筋で乗車（17 時 13 分、17 時 40 分発）、大学病院入口（17 時 21 分、17 時 40 分着）で下車し、徒歩約 3 分。 徒歩：約 30 分。
分科会 岡山シティホテル桑田町別館	岡山市北区桑田町 3-30 電話 086-221-0001	JR 岡山駅東口から徒歩約 7 分。
分科会 おかやま西川原プラザ	岡山市中区西川原 255 電話 086-272-1923	JR 岡山駅より、3 番乗り場赤穂線長船（おさふね）行きに乗車 3 分（150 円）、または 3 番乗り場山陽本線相生行きに乗車 3 分ほど西川原・就実駅で下車、北口から徒歩約 1 分。
現地分科会 13 まびいききプラザ 視察参加者集合場所 JR 総社駅東口 9 時から 2 時間現地視察。11 時 15 分から 16 時まで分科会。	倉敷市真備町川辺 2271 電話 086-698-1555	行き：視察参加者 JR 岡山駅より、2 番乗り場伯備線 8 時 20 分発、備中高梁行きで総社駅 8 時 49 分着（420 円）、総社駅東口でマイクロバスへ乗車、9 時出発。参加費は現地で支払い。 視察に参加しない人 JR 岡山駅より伯備線乗車、清音駅下車、同駅で井原鉄道神辺行き乗車、川辺宿駅下車、徒歩 2 分。 帰り：井原鉄道川辺宿駅で 16 時 45 分発総社行きに乗車、清音駅 16 時 48 分着（210 円）。同駅から JR 伯備線播州赤穂行き 16 時 55 分発に乗車。岡山駅に 17 時 21 分着（420 円）。
現地分科会 14 水島あいサロン 9 時 45 分開始 14 時 30 分終了。希望者はバスで水島臨海工業地帯などを視察（約 2 時間）。	倉敷市水島東千鳥町 1-50 電話 086-440-5511	行き：JR 岡山駅 1 番乗り場山陽本線糸崎行き 8 時 25 分発、倉敷駅 8 時 42 分着（料金 330 円）。改札を出て左へ進み右へ階段を降りて正面水島臨海鉄道（約 5 分）倉敷市駅で乗車。（下り）9 時 01 分発水島行きで水島駅 9 時 25 分着（料金 330 円）、電車の進行方向へ進み右側前方へ徒歩駅から約 3 分。会場入口は左手地下へ入る。参加費は現地で支払い。 帰り：水島臨海鉄道水島駅 14 時 42 分発倉敷市駅行きへ乗車。JR 倉敷駅で岡山方面に乗車。希望者はバスで水島臨海工業地帯などを視察、16 時 30 分頃倉敷駅前で解散。